

1 授業構想や計画に関する視点

①伸ばしたい資質・能力を明確にした単元（題材）の目標を3観点で設定している。	○学習指導要領解説における指導事項や、当該学年、各分野の内容等を基に、単元や題材を通して身に付けさせたい力を明確にした単元（題材）の目標を設定している。
②児童生徒の実態を把握している。	○前単元（題材）までの学習や系統性、生活経験等を踏まえ、本単元（題材）の目標との関わりから、実態を肯定的に捉えている。
③評価規準を適切に作成している。	○「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考にし、「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえて、学習評価を行う際の評価規準を作成している。
④指導及び評価、ICT活用の計画を適切に作成している。	○単元（題材）の目標の達成につながる「単元の課題」を設定し、その解決に向けた学習活動を明確にした計画を立てている。 ○単元（題材）の評価規準に照らし、「指導に生かす評価」「評定に用いる評価」を行う各単位時間や場면을精選して、評価の観点を位置付けている。 ○ICTの効果的な活用に向け、ICTの機能や活用場面、活用法を吟味して位置付けている。
⑤教材等の価値を明確にしている。	○言語活動、単元や題材、学習対象について、児童生徒の資質・能力の育成とのつながりから、各教科等の特質に応じた見方・考え方等を明確に設定している。

2 本時の学習指導に関する視点

（1）〔授業実施において基本となる部分〕

①学習ルールについて指導している。	○児童生徒がチャイム（開始・終了時刻）で授業を始め、終わりにしている。 ○児童生徒が学習用具を適切に準備したり、学習のルールを守ったりしている。 ○児童生徒がノートを適切に活用したり、話し合ったりして、主体的に学習に取り組んでいる。
②生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした授業づくりを行っている。	○児童生徒が「自分も一人の人間として大切にされている」と実感して、学習に取り組んでいる。 ○児童生徒が互いに認め合い・励まし合い・支え合いながら学習に取り組んでいる。 ○児童生徒が自分の思いを生かして自力解決したり、表現したりするなど、自分に合った学び方を自ら選択している。 ○児童生徒がお互いの個性や多様性を認め合ったり、言葉遣いに気を付けたりして、安全かつ安心に授業に参加している。
③児童生徒の発言を生かして、授業を組み立てている。	○児童生徒が他者の発言や発表に対して、質問したり、続きの説明を行ったりしている（1往復半＋αのやりとり）。
④板書や資料提示、ICTの活用を適切に行っている。	○児童生徒が板書やICT機器を活用して、学習を効果的に進め、自らの思考を整理したり、理解を深めたりしている。

(2) 〔授業改善にかかわる部分〕	
① 学習の目的や見通しをもてるよう、導入等を工夫し、めあてを児童生徒と一緒に設定している。 【めあての設定】	○児童生徒が「やってみたい」「なぜだろう」という思いや疑問を基に、めあて（課題）を考えている。 ○児童生徒が前時の振り返りや学習の連続性を意識してめあてを考えている。
② 一人一人が解決策を考えたり、思いや願いをもったりすることができるよう、試行錯誤する場面を設定している。 【個別最適な学び】	○児童生徒が自分なりに課題をとらえ、習得した知識・技能を活用して課題解決をしている。 ○児童生徒が見通しを基に、自己の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、思考したり、試したりして学びを進めている。
③ 多様な考え方に触れ、学びを広げたり、深めたりすることができるよう、ねらいを明確にした対話・交流の場面を設定している。 【協働的な学び】	○児童生徒が自らの考え等を表出するとともに、目的を意識して児童生徒間で質疑応答することで、思考を広げたり深めたりしている。 ○児童生徒が実習・実験、体験活動、専門家との交流など多様な他者と協働しながら、自分とは異なる考え方や感性に触れている。
④ 各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、より深く理解したり、考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりする場面を設定している。 【見方・考え方】	○児童生徒が事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う問題解決的な学習に取り組んでいる。 ○児童生徒が知識を相互に関連付けたり、物事を多様な視点で捉えたりし、これまで気付かなかったことや考えもなかったことにまで考えを深めている。
⑤ 自身の学びや変容を自覚したり、次時の学びや意欲につなげたりすることができるよう、単元や本時の学習のまとめ・振り返りの時間を確保している。 【まとめ・振り返り】	○児童生徒が本時で分かったことや考えたことを発表したり、ノートに書いたりするなど、学習のまとめやめあてに沿った振り返りをしている。 ○児童生徒が次時（次の単元）へのつながりを意識し、自らの学習を調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。